

# 鮭川出張所河川愛護モニタ－通信Vol.67

真室川小学校環境委員会の児童のみなさんからいただいた質問・報告と、鮭川出張所からの回答をご紹介します。

## 報告

かもが泳いでいました。寒そうでしたがたくさんいたので群れをつくる鳥なんだろうと思いました。(真小1月の報告)



## カモの群れについて



### カモの群れ

構成	自分と同じ種のカモ同士で群れをなす
場所	湖や沼、河川、海岸などの水辺に生息
行動	穏やかに泳いでいたり、水ぎわで眠っていたりすることが見られる
渡り	9～10月頃に日本に渡り、冬を過ごして4～5月頃に北方に渡る

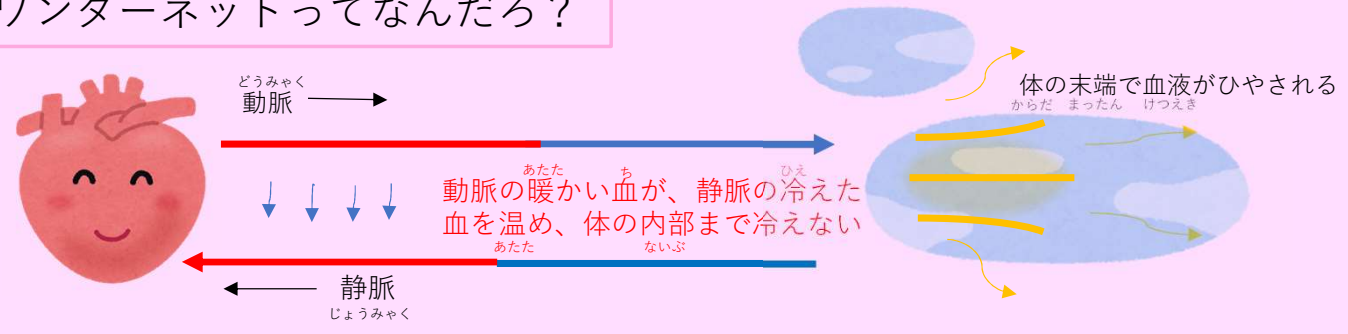
## 回答

カモは、仲間と協力して行動することで、餌場を見つけたり、外敵から身を守ったりするなどのメリットがあるため、群れを形成して生活しています。



カモは、足にある「ワンダーネット」という血管の構造のおかげで、冬でも寒い水の中で活動することができます。また、お尻に近い場所から分泌する脂で羽を防水して、体を浮かせて泳ぐこともできます。

## ワンダーネットってなんだろう？



## 水の中の魚はどうなんだろう？

魚は冬になると水温が下がることで体温が低下し、仮眠状態になる「冬眠」という行動をとります。冬眠中は代謝が低く、餌を食べず、じっと動かずに暖かい季節を待ちます。

## 報告

雪が多くて川に近づくことができませんでした。橋の上から水が透き通って見えました。水の量が少なくなり流れが弱くなったように思いました。(2月)

## 回答



川の水の量は、季節によって変化します。雨の多い季節には洪水が発生し、水の量が多くなり流れが速くなります。また、冬の季節には降った雪もとけずに積もるため水の量が減ります。そのため、流れもゆっくりになるため水が透き通ってみえるようになります。

## 報告

雪もだいぶとけてきました。川の水も少し増えたような気がしました。雪がとけて川の様子が見えてきて、昨年(さくねん)の7月の大雨(おおあめ)で川の地形(ちけい)が変わったことを思い出しました。(3月)

## 回答

だんだん暖かくなり、雪がとけてきました。雪どけ水によって川の水が増えるので川に入る際は注意しましょう。

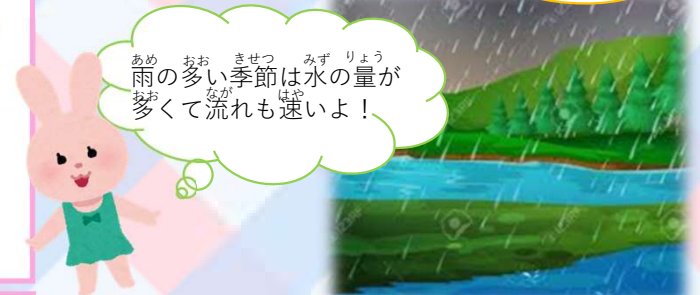
### 【暖かい日ほど注意！】

春先(はるさき)から初夏(しよか)にかけての川の増水(ぞうすい)には次のような特徴(とくちゆう)があります。

- 天気が良く暖かいと雪どけが進み川が増水する。
- 特に暖かい風が吹くときは雪どけが進行する。
- 川の水は雪どけ水が多いため温度が低い。



気温(きおん)が低いと雪(ゆき)がとけないから川の水(みず)は少ないよ！



雨(あめ)の多い季節(きせつ)は水(みず)の量(りやう)が多くて流れも速(はや)いよ！



## 川の防災情報

確認しよう！！

国土交通省(こくどうつうしょう)が運営(うんえい)する「川の防災情報(かわ ぼうさいじょうほう)」では、河川(かせん)の水位(すいゐ)の状況(じょうきゆう)などを、インターネットを通じてリアルタイム(らいあるたいむ)で配信(はいしん)しているよ！！  
新庄河川事務所(しんじょうかせんじむしょ)のホームページからもアクセスできるのでぜひみてね！！

よと読み取(よみと)ってみてね！！

<https://river.go.jp>



## スライド 2

---

小野 美穂1 小野 美穂, 2025/04/15